

年 月 日

一般財団法人丸亀市観光協会
理事長 様

実施者
(住所)
(名称)
(代表者) 印

年度体験型観光メニュー造成事業助成金交付申請書

上記助成金の交付について、体験型観光メニュー造成事業助成金交付要綱第5条の規定に基づき、次のとおり申請します。

記

1 事業名 _____

2 対象事業に要する経費及び助成金交付申請額

対象事業に要す経費 金 _____ 円

助成金交付申請額 金 _____ 円

3 添付書類

事業計画書（様式第1号別紙1）

収支予算書（様式第1号別紙2）

見積書

会社概要等実施者の概要が分かるパンフレット等

誓約書兼同意書

その他参考となる資料

年度体験型観光メニュー造成事業助成金事業計画書

実施者名	
事業名	
体験メニューの内容	<p>(体験メニューの具体的な内容、想定する顧客ターゲット、所要時間、料金、事前予約の有無、告知の方法等について具体的に記入してください)</p>
本助成金を利用して支出する項目の内容	<p>(購入・製作等をする項目について具体的に記入してください。)</p>
事業実施スケジュール	<p>(開始時期等具体的な事業スケジュールを記入してください。)</p>

年度体験型観光メニュー造成事業助成金収支予算書

実施者名 _____

補助対象経費の合計 (表中のBと同じ)		補助対象経費の合計額の 2/3の金額	補助金申請額 ※	
円		円	円	
※「補助金申請額」欄は、補助対象経費(B欄の支出合計)に補助率(3分の2)を乗じて得た額と補助限度額(10万円)とを比較して、いずれか少ない額を記入してください。				
収入の内訳	収入項目	金額(税込)	内訳	
	本助成金	円	※「補助金申請額」と同額	
	自己資金	円		
	その他の収入	円		
A 収入合計		円		
支出の内訳(補助対象経費)	支出項目		金額(税込)	内訳(算出根拠も記載)
	事業費	備品購入費	円	
		消耗品費	円	
		印刷製本費	円	
		広告料	円	
		委託料	円	
		その他	円	
B 支出合計		円		

- ※ 行が不足する場合は、適宜追加してください。
- ※ 見積書等を添付してください。
- ※ すべての支出について、事業に直接関係のない支出は対象となりません。
- ※ 補助対象経費「その他」について
事業の実施のために必要な経費で、理事長が必要かつ適切と認めた経費(補助対象経費となるかは、個別に経費の内容を審査します。)

暴力団等の排除に関する誓約書

令和 年 月 日

一般財団法人丸亀市観光協会
理事長 高濱 和則 様

住所（所在地）

名称

代表者職・氏名

印

私は、次の事項について、いずれにも該当しないことを誓約いたします。

また、次の事項に該当することとなった場合には、速やかに届け出るとともに、交付決定の取消しなど、貴協会の行う一切の措置について異議申立てを行いません。

- 1 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）が経営に実質的に関与していると認められる者
- 2 自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していると認められる者
- 3 暴力団員と認められる者
- 4 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与していると認められる者
- 5 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有すると認められる者
- 6 法人にあっては、その役員（その支店又は営業所の代表者を含む。7において同じ。）が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していると認められるもの
- 7 法人にあっては、その役員のうち3から5までのいずれかに該当する者があるもの

様式第3号（第13条関係）

年 月 日

一般財団法人丸亀市観光協会
理事長 様

実施者
(住所)
(名称)
(代表者) 印

年度体験型観光メニュー造成事業実績報告書

年 月 日付で交付決定のあった当該事業が完了したので、体験型観光メニュー造成事業助成金交付要綱第13条の規定により、次のとおりその実績を報告します。

記

1 事業名 _____

2 助成金交付決定額 金 _____ 円

3 添付書類

事業実施状況（別紙1）

事業収支決算書（別紙2）

請求書・領収証等収支を証する書類の写し

写真等事業内容が確認できる書類

別紙 1 (様式第 3 号関係)

年度 事業実施状況

実施者名 : _____

事業名	
事業期間	
事業実施状況 当助成金で購入・作製等 した項目について活用 の方法等を具体的に記入	

体験メニューの名称	
体験メニューの概要	
メニューの料金 (税込)	
料金に含まれるもの	
平均所要時間・ 体験スケジュール	
予約の有無	有 ・ 無 (有の場合 日前まで)
キャンセル料の有無	有 ・ 無
実施可能曜日や時間	
告知の方法	
観光協会ホームページへ の掲載	希望する ・ 希望しない

年度体験型観光メニュー造成事業助成金収支決算書

実施者名 _____

補助対象経費の合計 (表中のBと同じ)		補助対象経費の合計額の 2/3 の金額	補助金申請額 ※	
円		円	円	
※「補助金申請額」欄は、補助対象経費(B欄の支出合計)に補助率(3分の2)を乗じて得た額と補助限度額(10万円)とを比較して、いずれか少ない額を記入してください。				
収入の内訳	収入項目	金額(税込)	内 訳	
	本助成金	円	※「補助金申請額」と同額	
	自己資金	円		
	その他の収入	円		
A 収入合計		円		
支出の内訳(補助対象経費)	支出項目		金額(税込)	内 訳(算出根拠も記載)
	事業費	備品購入費	円	
		消耗品費	円	
		印刷製本費	円	
		広告料	円	
		委託料	円	
		その他	円	
B 支出合計		円		

- ※ 行が不足する場合は、適宜追加してください。
- ※ 請求書・領収証の控え・写真等を添付してください。
- ※ すべての支出について、事業に直接関係のない支出は対象となりません。
- ※ 補助対象経費「その他」について
事業の実施のために必要な経費で、理事長が必要かつ適切と認めた経費
(補助対象経費となるかは、個別に経費の内容を審査します。)

様式第5号（第15条関係）

年 月 日

一般財団法人丸亀市観光協会
理事長 様

実施者
(住所)
(名称)
(代表者)

印

年度体験型観光メニュー造成助成金（精算払・概算払）請求書

年 月 日付けで額の確定のあった標記助成金について、下記のとおり請求します。

記

助成金交付決定額	円
既受領済額	円
今回請求額	円
残額	円

(振込先) 金融機関名 _____ 銀行 _____ (支)店

預金種目 普通・当座 (該当する方を○で囲むこと。)

口座番号 _____

(フリガナ)
口座名義